

1月16日 **国際紛争やコロナ・政治等様々な人権にかかわる諸問題**

1月23日 **西宮市尼崎市を中心とする阪神地域の社会的課題**

1月30日 **研究発表に必要な手法～新聞作成を通して**

気づいたこと・考えたこと

講師 神戸新聞経営企画局教育事業戦略室 三好 正文 様

神戸新聞記者 中川 恵 様 をお招きして

前回の途中感想に続けて

今回の講演で、久しぶりに新聞を見て、改めて新聞がどれだけ見やすいように作られているか実感することができた。読む人の興味を引き、かつその記事の内容を一言で分かりやすくまとめられている見出しは、新聞にしかできないものだなと思いました。ネットニュースの記事では、1枚大きな写真やイラストがあって、その後に文章が長々とあって、すごく見づらいついていました。でも、新聞だと分かりやすくまとめられており、その上でたくさんの記事を一度に見ることができるので、とても良いと思います。

新聞にはただ縦に読むようなものだけでなく、必要に応じて横書きと縦書きをミックスしたようなものもある。そこで重要なのが、何を一番伝えたいのかを考え、それが一番伝わりやすいレイアウトを考えることだと思う。記事からキーワードを拾うと、それが大抵タイトルや見出しにも使われていることに気づいた。

伝えたいことのキーワードを的確に抜き取ることも、新聞の記事を作るうえで大切なのだと思った。

どんな記事でも、読んでいけばこの言葉は何なのか、意味を知ってみたいなど、気になることや疑問が必ず出てくると思います。自分で調べてみる、考えてみるということで、理解ができ知識が身についていくのではないかと感じます。新聞だけではなく、自分が気になったことについて深めていくということも大切だと思いました。

今までは、活字を見ているだけだったが、改めてよく見て、問いを立てることの大切さを知った。

市長や市議会議員の選挙前には、地域の課題の記事が載っていることを今回知ったので、選挙権を持った時にはチェックをして選挙に投票したいです。

尼崎の印象が悪くなっている理由が分からなく、原因が気になった。何か原因があると思う。

西宮市や尼崎市で、自分たちが気づいていないことが、社会では課題になっていることが分かった。

世の中でおきているいろいろな問題に対して、それを解決するためにはたくさんの考えが必要なのだと感じました。

普段1つのニュースについて詳しく読み込んだりしないから、さまざまな社会の変化に気づけていなかったのだと思いました。

新聞を読むとき、「～ってどうなっているんだろう？」などの疑問を立てて読むことで、さらに新しい疑問が出てきて、新鮮な気持ちで受けることができました。

尼崎はなぜ治安がよくないかをよく考えたことがなかった。

自分は新聞記事を見ることが全然なくて、講演をきっかけに久しぶりに見た。新聞を読む順番があるなど、知らないことを知ることができた。

実際に新聞を見ると、知らないことだらけで、もっと世界に関心を持とうと思った。

新聞記事を読む時は、自分の身の回りのことや知っていることと関連づけて考え、自分の中で問いを立てることを意識しようと感じた。今回選んだ記事の他に、みんなの意見を聞いて興味を持ったものもあった。

調べて答えが出てくるうちは調べ学習。自分が考える理論を展開させる必要があると思いました。

普段の新聞からも問いを自分で見つけて、立てられるということが分かった。

今回は1つの記事に注目して考えを深めた。普段ニュースはなんとなく見ているけど、感じた疑問を調べてみたりしてみることで、将来のヒントが見つかるかもしれない。

興味を持った記事をよく読み、それに対してどのような影響が出るのか、メリット、デメリットを考えながら読むと、より一層世の中のこと・地元のことについて知ることができると思った。

自分で興味を持った記事についてグループで話し合ったりすることで、より深くその記事について知ろうと思い、自分で問いを立てることで、より印象に残りました。

新聞は、自分たちに関係することや、興味のある記事がたくさんあるものなんだと改めて気づきました。いろいろな解決策がその地域以外でも使われていて、日本全体をもっとよくできればいいのにと感じました。

グループの皆と話し合いをしてみると、自分とはまた違った視点で新聞を読みといて、異なる意見が何個も出てきたので、同じ紙面からでも受け取る人によって違う解釈がすることに気づいた。ただ、新聞を読むだけでなく、複数の視点から情報を受け取れるようにしたいと感じました。

普段新聞を読んでいないので、いざ新聞を読んでみると想像以上におもしろく、新しい発見がたくさんありました。「問い」がたくさん出てきたので調べてみようと思います。

何かについて疑問を浮かべることは、「知る」という行動に対して最も重要であることに気づいた。

1つの新聞記事についても、一人一人思っていること、感じていることは違うんだと思った。友達の見聞を聞いて気づくこともあったので、みんなで話し合うことは大事なことなんだと思った。

自分たちが住んでいる地域だからこそ興味がわきました。高校が合併すると公立高校は少なくなり、偏差値の問題も出てくると思うので、どうなっていくのかこの先気になります。

今回の1つの記事だけでも複数の問いが生まれたことで、少し深く考えてみると、こんなにも疑問が出てくることを知りました。次から何かを見たり読んだりするときは、「なぜ？」という疑問を常に持つように、集中して物事を考えようと思います。

新聞では、尼崎の治安の改善について、過去から何度も言われているはずなのに、いまだに周囲の人々からの意見は厳しいことについて、周囲の人々の意見はこれからも変わらないと思います。

「探究的な学び」とは、「Q&A」つまり「なぜ？」を探し続けて、答をつきつめ続けることだと学びました。